

関西広域連合

UNION OF KANSAI GOVERNMENTS

Shiga



白鬚神社
©しがトコ

Kyoto



天橋立

Kyoto City



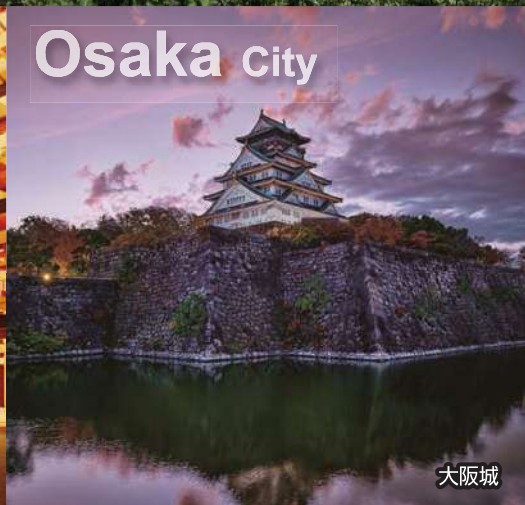
渡月橋
©京都市メディア支援センター

Osaka



大阪・関西万博 大屋根リング
©Expo2025

Osaka City



大阪城

Sakai city



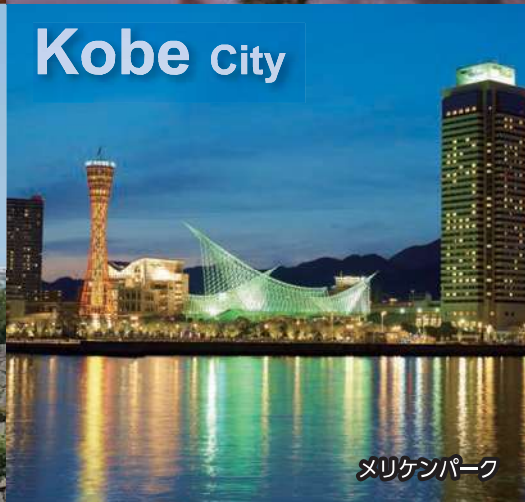
仁徳天皇陵古墳

Hyogo



姫路城

Kobe city



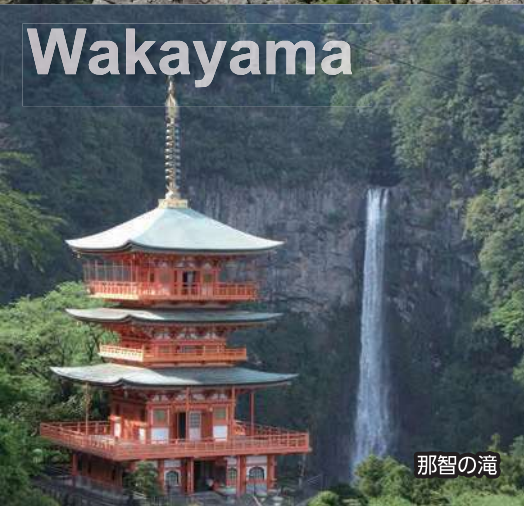
メリケンパーク

Nara



吉野の桜

Wakayama



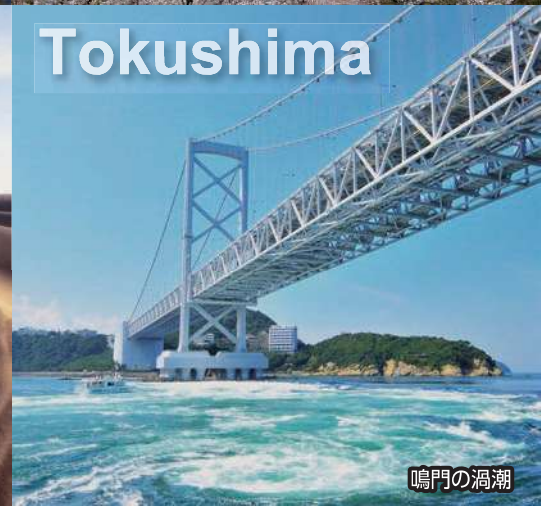
那智の滝

Tottori



鳥取砂丘

Tokushima



鳴門の渦潮

広域連合長挨拶

「関西のつながる力が未来を拓く！」



広域連合長
三日月大造 (滋賀県知事)

関西広域連合は、2010年の設立から16年目を迎えました。この間、広域行政を担う責任主体として、東日本大震災や能登半島地震でのカウンターパート方式による迅速な被災地支援、ドクターヘリによる広域救急医療体制の確立、新型コロナウイルス感染症対応等をはじめとする様々な分野で着実に成果を上げてきました。

さらに、東京一極集中を是正し地域の活力を生み出すため、政府関係機関の地方移転として、京都への文化庁の移転、徳島への消費者庁新未来創造戦略本部の設置、和歌山への総務省統計局統計データ利活用センターの開設などを実現しました。

国においては、国・都道府県・市町村間の役割分担等について第34次地方制度調査会での調査審議や、副首都構想の実現に向けた議論がなされているところですが、関西広域連合は、設立当初から国の出先機関を中心とした事務・権限の移譲や、災害時に首都機能を代替する首都機能のバックアップ構造の実現等を国に強く求めています。

今年度から5年間の関西広域連合の取組方針を定める第6期広域計画がスタートしました。計画では、目指すべき関西の将来像として、「我が国のもう一つの極として、新次元の分権型社会を先導する関西」、「誰もが豊かさを実感できる、安全・安心で持続可能な関西」、「個性や強み、歴史や文化を活かして、新たな価値を創造・発信し、世界の中で輝く関西」の3つを示し、これらの将来像を実現するための「5つの力」として、「自治力」「防災力」「文化力」「環境力」「産業力」の向上に取り組めます。

さて、開催を待ち望んでいたワールドマスタースゲームズ2027関西が、いよいよ来年5月に開催されます。関西の豊かなスポーツ環境と地域資源を結集した広域開催の魅力をアピールするなど、大会成功に向けて関西一丸となって盛り上げていきます。

「関西は一つ、関西は一つ一つ」の言葉どおり、関西にはそれぞれが持つ“らしさ”があります。多様な地域の“らしさ”を互いに尊重、発揮しながら、関西広域連合ならではのつながる力を結集し、大阪・関西万博のレガシー継承をはじめ、関西を更なる高みへと導く取組を着実に進めてまいります。

令和8年4月

目指すべき関西の将来像

第6期広域計画(計画期間:令和8年度～令和12年度)では、目指すべき関西の将来像として、次の3つを掲げ、その実現を目指します。

我が国の「もう一つの極」として、新次元の分権型社会を先導する関西

- ・政府機関等の移転や防災庁の地方機関設置、広域インフラの整備等を推進するとともに、政策の優先順位を自らが決定し、実行できるよう、国の事務・権限の移譲を求めています。これらの取組を通じ、首都機能のバックアップ機能を担うとともに、首都圏とは異なる「もう一つの極」として、分権型社会を先導します。

誰もが豊かさを実感できる、安全・安心で持続可能な関西

- ・防災力の向上や医療体制の充実・強化、環境の保全・利活用、デジタル技術・新技術の活用等により、誰もが豊かな環境と利便性を享受しつつ、安心して暮らすことができる持続可能な社会を構築します。
- ・多様な働く場や教育を受ける機会等を提供することで、将来を担う若い世代をはじめ、様々な価値観やライフスタイルを有する人々が集まり住み続けることのできる、Well-beingな関西をつくりまします。

個性や強み、歴史や文化を活かして、新たな価値を創造・発信し、世界の中で輝く関西

- ・多彩な文化資源や豊かな自然等の魅力を高めるとともに、それら関西各地の資源を複合的・効果的に活用した広域観光の推進、産業の強みやポテンシャルを活かしたイノベーションの創出等に取り組み、新たな価値を創造・発信することで、世界の中での関西のプレゼンスを高めます。

組織概要 (令和8年4月1日現在)

組織名 関西広域連合 **設立日** 平成22年(2010年)12月1日
構成団体 滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、徳島県、京都市、大阪市、堺市、神戸市 (連携団体:福井県、三重県)

※滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、鳥取県、徳島県は平成22年12月1日(設立日)から、大阪市及び堺市は平成24年4月23日から、京都市及び神戸市は平成24年8月14日から、奈良県は平成27年12月4日から参加

広域連合長 三日月 大造(滋賀県知事)

副広域連合長 西脇 隆俊(京都府知事)、吉村 洋文(大阪府知事)、久元 喜造(神戸市長)
 ※令和7年7月5日から3人体制

広域連合委員会 広域連合の施策に係る重要事項に関する基本方針及び処理方針を調整するに当たり、構成団体等の多様な意見を反映させるとともに、構成団体の長の主導のもとに各分野の事務事業を迅速に推進するため、構成団体の長が事務分野ごとの「担当委員」として執行責任を担う仕組みで、関西広域連合独自の組織です。合議による組織運営を行います。



担当委員

<ul style="list-style-type: none"> ■ 広域防災担当 兵庫県知事 └─ 副担当 奈良県知事 └─ 副担当 神戸市長 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 広域観光・文化・スポーツ振興担当 京都府知事 └─ 副担当 奈良県知事 └─ 副担当 京都市長 └─ スポーツ振興担当 兵庫県知事 └─ 副担当 鳥取県知事 └─ ジオパーク推進担当 鳥取県知事 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 広域産業振興担当 大阪府知事 └─ 副担当 大阪市長 └─ 副担当 堺市長 └─ 農林水産振興担当 和歌山県知事
<ul style="list-style-type: none"> ■ 広域医療担当 徳島県知事 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 広域環境保全担当 滋賀県知事 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 広域職員研修担当 奈良県知事

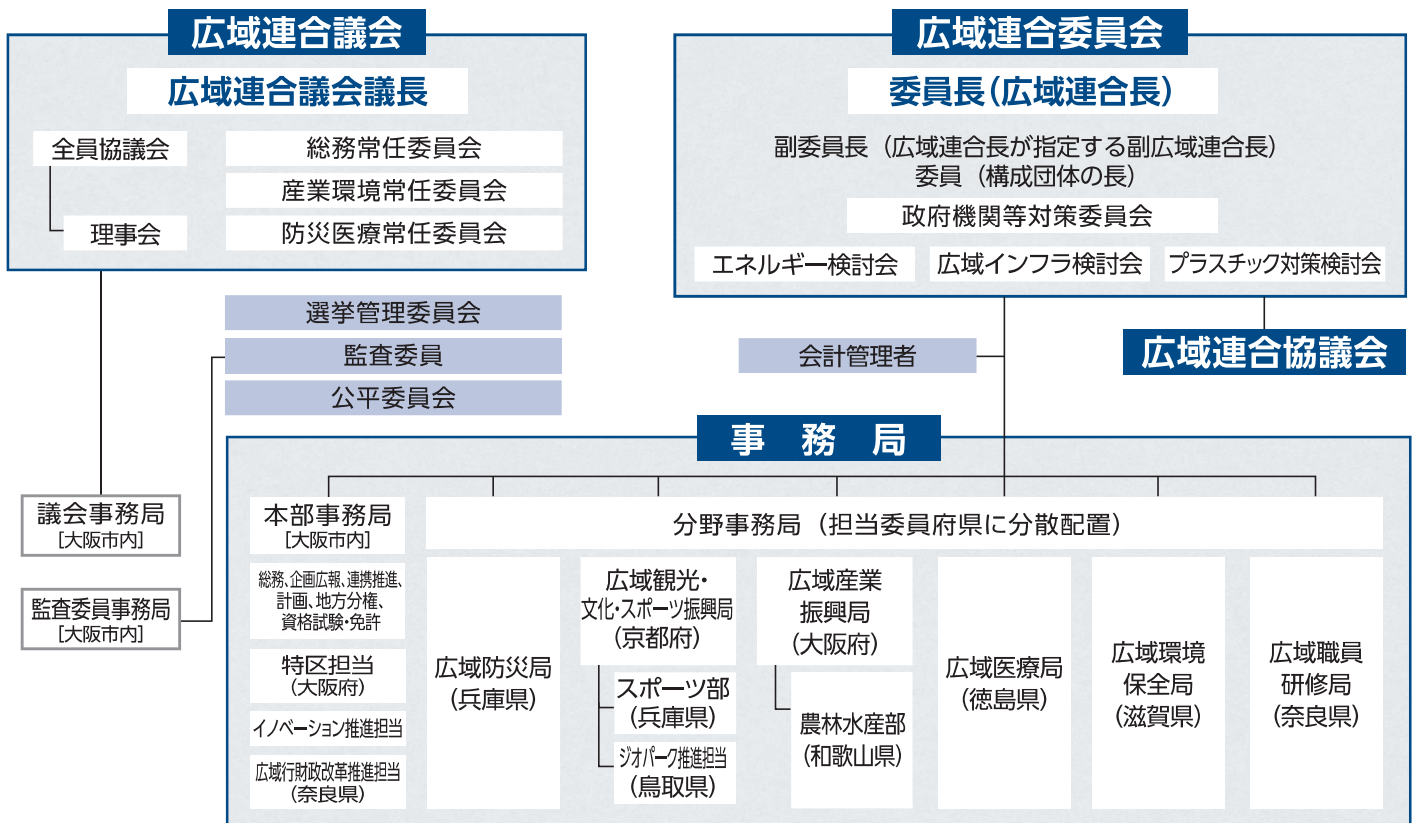
広域連合議会 広域連合の議事機関として、条例の制定改廃、予算の議決を行うなど、普通地方公共団体の議会と同様の権限を有します。構成団体の議会から選ばれた40名の議員で構成されます。議会活動をサポートするため、議会事務局を設置しています。

広域連合協議会 広域連合の実施事業等のもとより、関西の課題と今後のあり方を踏まえた広域連合の将来像等について、住民等から幅広く意見を聴取し協議を行います。

事務局 総務、企画広報、連携推進、資格試験・免許等、計画、地方分権の事務を所管する本部事務局を設置するとともに、その他の分野の事務を所管する分野事務局を担当委員府県に設置し、府県市職員が広域連合職員を兼務します。



組織の全体像



将来像実現のための5つの力

自治力

- 広域行政を着実に実行
- 広域での処理が効率的・効果的な新たな事務の検討や、既存の事務・事業の見直し
- 新たな広域自治・行政のあり方についての研究
⇒分権型社会を先導

防災力

- 阪神・淡路大震災から30年が経過、経験や教訓を継承
- 関西全体としての応援・受援体制を強化
- ドクターヘリの効果的・効率的な運航
- 大規模災害や新たな感染症などへの備えを強化
⇒住民の安全・安心な生活を守る

文化力

- 世界文化遺産をはじめとする関西の多彩な文化資源を最大限に活用
- 文化や観光、スポーツ等のコンテンツの融合により、新たな価値を創出
- 関西のブランド力を一層向上
⇒日本の美とところを関西から世界に発信

環境力

- 豊かな自然や景観・生態系サービスを保全
- 自然環境を活かした地域の魅力向上
- 琵琶湖・淀川流域における水源保全や水環境に関する対策等の流域自治を推進
⇒持続可能な循環型社会を実現

産業力

- 大阪・関西万博のレガシーを継承
- 関西の強みやポテンシャルを活かした産業の高付加価値化やイノベーションの創出
- 農林水産業を含む産業の競争力を強化
⇒働く場や投資先として「選ばれる関西」を目指す

広域行政への取組

広域防災

関西全体の連携で防災力を高め、住民の安全と安心をもたらします！

- 「関西防災・減災プラン」をはじめとする各種計画に定める防災力の充実・強化
- 大規模広域災害を想定した広域対応の推進
- 災害時の物資供給等の円滑化の推進
- 関西広域応援訓練の実施
- 官民連携による広域的な災害対応力の強化
- 帰宅困難者及び外国人観光客対策の推進
- 防災分野の人材育成
- 防災庁地方機関設置に向けた取組の推進



広域観光・文化・スポーツ振興

戦略的な観光・文化・スポーツ振興で、さらに魅力ある関西を目指します！

- 「関西観光・文化振興計画」の推進
- 広域周遊観光の更なる推進
- 受入環境の整備
- 万博レガシーを活かしたジオパークの魅力発信・周遊促進
- 多様な文化資源の振興や魅力向上の推進
- 連携交流による文化観光の推進
- 関西文化の次世代への継承
- 文化と経済の好循環の推進
- 国際イベントの開催等を契機とした関西文化の振興
- 「生涯スポーツ先進地域関西」の実現
- 「スポーツの聖地関西」の実現
- 「スポーツツーリズム先進地域関西」の実現
- 「ワールドマスターズゲームズ2027関西」の開催支援



広域産業振興

戦略的に産業政策を進め、イノベーションが生まれる関西を目指します!

- 「関西広域産業ビジョン」の推進
- 関西の優位性を活かしたイノベーションの創出・発展
- 高付加価値化による中堅・中小企業等の持続的成長
- 特色ある産業を活かした地域経済の活性化
- 「関西広域農林水産業ビジョン」の推進
- 地産地消運動の推進による域内消費拡大
- 国内外への農林水産物の販路拡大
- 農林水産業の競争力強化
- 農林水産業を担う人材の育成・確保
- 都市との交流による農山漁村の活性化



広域医療

関西全体を「4次医療圏」と位置付け、「安全・安心の医療圏“関西”」の実現を目指します!

- 「関西広域医療連携計画」の推進
- ドクターヘリの活用等による広域救急医療体制の充実
- 災害時における広域医療体制の強化
- 課題解決に向けた広域医療体制の構築



広域環境保全

関西全体で広域の環境保全に取り組み、「持続可能な“関西”」を目指します!

- 「関西広域環境保全計画」の推進
- 脱炭素社会づくり
- 自然共生社会づくり
- 循環型社会づくり
- 持続可能な社会を担う人育て



資格試験・免許等

資格試験・免許等の一元化により、事務の効率化を目指します!

- 准看護師・調理師・製菓衛生師試験の実施、免許交付等
- 毒物劇物取扱者・登録販売者試験の実施



広域職員研修

広域的な視点を持つ職員を育成し、業務執行能力の向上を図ります!

- 広域職員研修局主催研修
- 各構成団体主催研修への参加調整
- 研修の効率化



政策の企画調整

関西全体で取り組むことが必要な基本的な政策について企画・調整を積極的に進めます！

■「ワールドマスタースゲームズ2027関西」の開催支援

大会の開催に向けた機運醸成やスポーツツーリズムの推進、海外からの参加者等のための防災・医療体制の構築に向けた協力、多言語対応を含む情報発信の取組等を支援します。

■ 広域インフラのあり方

高規格道路等の未整備区間の早期解消や、リニア中央新幹線、北陸新幹線の一日も早い大阪までの全線開業等を実現するため、国等へ働きかけるとともに、関西主要港湾の広域的な連携に関する取組などの検討を行い、関西全体の発展に欠かせない広域インフラの整備を進めます。

■ プラスチック対策の推進

プラスチック対策は、製造・流通・消費・廃棄等の各過程に関わる多様な主体が連携・協力し取り組んでいく必要があるため、各主体の活動の促進に資する情報共有・意見交換や、プラスチック代替製品の普及促進、広域な分野にわたるプラスチックごみの削減に向けた総合的な取組を進めます。

■ エネルギー政策の推進

関西における望ましいエネルギー社会の実現を目指し、関西圏における水素の利用拡大に向けた広域的な取組の検討や、エネルギー政策の推進について国に対し適時・適切な提案等を行います。

■ 特区の推進

国から指定を受けた関西イノベーション国際戦略総合特区等について、特区施策の拡充など国への働きかけの強化を図るとともに、既認定事業の推進や新たな規制改革への取組を進めます。

■ イノベーションの推進

関西の優れた大学や最先端科学技術基盤、産業界が有する健康・エネルギー、ICT、安全・安心、ものづくり等に関するポテンシャルを活かし、健康・医療など中長期的・広域的課題を解決するため、産学官の連携体制を構築し、イノベーションの創出を図ります。

■ 琵琶湖・淀川流域対策

流域における諸課題の解決に向け、上流・中流・下流で活動する団体等の交流機会創出など、琵琶湖・淀川流域はもとより他の流域も含めて、水のつながりに対する理解の促進と連携の強化を目指します。

■ 女性活躍の推進

関西における女性活躍の更なる推進に向け、関西経済連合会と共同で設置した「関西女性活躍推進フォーラム」において、構成団体、経済団体、地域団体、有識者等が、相互に連携した取組を実施し、女性活躍推進の機運醸成や普及啓発などを図ります。

■ SDGsの普及推進

国連で採択されたSDGsの達成に向け、関西の民間企業、NPO・NGO、大学・研究機関、自治体・政府機関といった多様な主体が参加する「関西SDGsプラットフォーム」にJICA関西、近畿経済産業局とともに共同事務局として参画し、関西におけるSDGsの理念の普及とネットワークを活かした取組の推進を図ります。

■ デジタル化の推進

構成団体と連携し、地方公共団体の情報システムの標準化・共通化や行政手続のオンライン化等を進めるとともに、産学官が連携してデータ整備・利活用やデータ連携基盤の共用化等、関西からDXを先導する取組を展開します。

■ 様式・基準の統一の推進

ビジネスがより効率的に行える広域的な環境づくりに向け、「地域における行政目的の達成」を尊重した上で、自治体ごとに異なる申請の様式や基準等を整理し、統一・共通化に取り組みます。

■ 広域連携による行財政改革の推進

構成府県市の限られた行財政資源を最大限活用して住民サービスの向上が図られるよう簡素で効率的な運営を基本原則とし、「広域での処理が効率的かつ効果的となる新たな事務の検討」や「既存事務、事業の見直し」を通じ、広域連携による行財政改革を推進します。

分権型社会の実現

～我が国の「もう一つの極」としての関西の実現に向けた取組、地方分権改革の推進～

関西圏域の発展のため、地方創生を進めるとともに、関西が首都機能のバックアップを担うにふさわしい圏域であることを示すことで、政府機関等の更なる移転を推進し、我が国の「もう一つの極」としての関西の実現に取り組めます。また、関西圏域における広域行政の成果を積み重ね、国の事務・権限の受け皿たる能力を示し、その移譲につなげます。

これらの取組を一体的に推進することで、地域自らが政策の優先順位を決定できる分権型社会を先導する、個性豊かで活力に満ちた関西の実現を目指します。

様々な主体との連携・住民等との協働

- 「目指すべき関西の将来像」の実現に向け、経済界や連携団体（福井県・三重県）、国、市町村をはじめ様々な主体と連携することにより、関西広域連合が関西の“力”を総合化する結節点となり、関西全体の活性化を図ります。
- 住民等に情報発信を積極的に行うことにより、関西広域連合の更なる認知度の向上及び理解促進を図ります。
- 地域団体の代表、学識経験者、公募委員等で構成する関西広域連合協議会や市町村との定期的な意見交換会等を通じて、住民意見の施策への反映を図ります。

主要活動実績

- 関西広域連合委員会開催(平成22年12月～)
- 関西広域連合議会開催(平成23年1月～)
- 「広域計画」策定(平成23年2月(令和8年2月改訂))
- カウンターパート方式による東日本大震災対応(平成23年3月～)
- 首都機能バックアップ構造の構築に関する提言(平成23年4月)
- 関西広域連合のドクターヘリが運航を開始(平成23年4月)
「3府県ドクターヘリ」(平成23年4月～)、「大阪府ドクターヘリ」及び「徳島県ドクターヘリ」(平成25年4月～)、「兵庫県ドクターヘリ」(平成26年4月～)、「京滋ドクターヘリ」(平成27年4月～)
- “丸ごと移管”を求める国の出先機関を決定(平成23年5月)
九州知事会とともに「経済産業局」「地方整備局」「地方環境事務所」の3機関の移管を求めることを決定(国との調整、協議等実施)。
- 「KANSAI」の魅力発信に向けた海外プロモーション実施(平成23年6月～)
- 広域インフラ検討会設置(平成23年7月～)
- エネルギー検討会設置(平成23年8月～)
- 関西広域連合協議会開催(平成23年9月～)
- 官民一体となった防災対策推進(平成23年9月～)
民間企業・団体や九州地方知事会等との協定締結による連携体制の確保。
- 「関西防災・減災プラン」策定
総則編及び地震・津波災害対策編(平成24年3月策定(令和8年2月改訂))、原子力災害対策編(平成24年3月策定(令和6年3月改訂))、風水害対策編(平成26年6月策定(令和6年3月改訂))、感染症対策編(新型インフルエンザ等)(平成26年6月策定(令和8年2月改訂))、(家畜伝染病)(平成26年6月策定(令和3年2月改訂))
- 「関西観光・文化振興計画」策定(平成24年3月(令和7年3月改訂))
- 「関西広域産業ビジョン」策定(平成24年3月(令和6年3月改訂))
- 「関西広域医療連携計画」策定(平成24年3月(令和6年3月改訂))
- 「関西広域環境保全計画」策定(平成24年3月(令和5年3月改訂))
- 通訳案内士登録事務の一元化開始(平成24年4月～)
- 関西イノベーション国際戦略総合特区推進室設置(平成24年5月～)
平成27年4月より「特区担当(本部事務局)」において事業を推進。
- 広域産業振興局「農林水産部」設置(平成24年7月～)
- 「KANSAI 国際観光YEAR2013」実行委員会設立(平成24年8月～令和3年12月)
- 「関西地域カワウ広域管理計画」に基づくカワウ対策の推進(平成25年3月(令和5年3月改訂))
- 道州制のあり方研究会設置・最終報告(平成25年3月～平成26年3月)
- 海外事務所・海外ビジネスサポートデスクの共同利用等開始(平成25年4月～)
- 資格試験・免許等事務の一元化開始(平成25年4月～)
・各府県で行われていた准看護師、調理師及び製菓衛生師に係る試験実施、免許交付に関する事務について関西広域連合において一元化。
・毒物劇物取扱者試験、登録販売者試験の実施(平成31年4月～)
- ワールドマスターズゲームズ2027関西への対応
・2021年のワールドマスターズゲームズ(生涯スポーツの国際総合競技大会)の招致を決定(平成25年8月)
・新型コロナウイルス感染症の影響による開催延期の方針を公表(令和2年10月、令和3年10月)
・新会期が2027年5月14日～30日の17日間に決定(令和4年7月)
- 「関西広域農林水産業ビジョン」策定(平成25年11月(令和6年3月改訂))
- 琵琶湖・淀川流域対策の推進
・琵琶湖・淀川流域対策に係る研究会設置(平成26年7月～)
平成28年9月報告書提出。平成29年6月研究会に3つの部会設置。平成31年～令和2年に各部会報告書提出。
・いのち育む“水”のつながりプロジェクト開始(令和5年9月～)
- 「南紀熊野ジオパーク」が日本ジオパークに認定(平成26年8月～)
- 「関西圏域の展望研究会」設置・最終報告(平成26年9月～平成27年9月)
関西圏域の今後を展望し、近畿圏広域地方計画の見直しなど、国と地方の議論等に活用するため、関西広域連合協議会専門部会として設置。
- 関西健康・医療創生会議の設立(平成27年7月～)
- 政府機関等の関西への移転
・構成府県市が提案した政府関係機関の移転実現を国に要請。平成28年3月に国の基本方針が示され、同年9月に中央省庁の移転について、今後の取組内容が示された。
・政府機関等対策PTを設置(平成28年12月～)
・文化庁:地域文化創生本部設置(平成29年4月～令和5年3月)
・総務省統計局:統計データ活用センター設置(平成30年4月～)
・消費者庁:新未来創造戦略本部発定(令和2年7月～)
・文化庁:京都に移転、業務開始(令和5年3月～)
- 広域観光・文化・スポーツ振興局「スポーツ部」設置(平成27年9月～)
- 「山陰海岸世界ジオパーク」がユネスコの正式事業に決定(平成27年11月～)
- 世界ジオパークがユネスコの正式事業に決定され、山陰海岸世界ジオパークが、「山陰海岸ユネスコ世界ジオパーク」となる。
- 「関西広域スポーツ振興ビジョン」策定(平成28年3月(令和4年3月改訂))
- 関西国際観光推進本部の設立(平成28年3月～(平成29年4月関西地域振興財団と統合、関西観光本部発定))
- 「関西創生戦略」策定(平成28年4月(令和8年3月改訂))
- 熊本地震・鳥取県中部地震対応(平成28年4月～、10月～)
- 関西広域連合協議会大学生等との意見交換会の開催(平成28年9月～)
- 2025年大阪・関西万博への対応
・関西広域連合委員会で、誘致実現についての働きかけを決議(平成28年9月)
・関西広域連合議会において誘致実現について決議(平成29年8月)
・2025年の大阪・関西万博開催決定(平成30年11月)
・関西広域連合委員会において関西パビリオンの出展を決定(令和3年9月)
・関西パビリオン建築計画の概要を発表(令和4年10月)
・EXPO2025関西観光推進協議会]を設立(令和5年3月～)
・関西パビリオン出展基本計画を策定(令和5年5月)
・関西パビリオン起工式(令和5年10月)
・関西・WEBパビリオンを公開(令和6年4月)
・機連醸成イベント「KANSAI 感祭」の実施(令和6年8月～令和7年3月)
・関西パビリオン開館(令和7年4月)
・関西各地の魅力PRイベント「関西 WEEK」や「KANSAI 伝統文化EXPO」の実施(令和7年8月～10月)
- 「関西災害時物資供給協議会」の設立(平成29年1月～)
- 広域行政のあり方検討会設置・最終報告(平成29年9月～平成31年3月)
- 関西女性活躍推進フォーラムの設置(平成29年12月～)
「働く女性が日本で最も活躍できる地域・関西」を目指し、関西経済連合会と共同設置。
- 関西SDGsプラットフォームへの参画(平成29年12月～)
SDGsの達成に向け、JICA関西、近畿経済産業局とともに事務局を担い活動。
- 2019年G20大阪サミットへの対応
・「2019年G20大阪サミット関西推進協力協議会」への参画(平成30年3月)
・2019年G20大阪サミットの大阪・関西魅力発信スペースにおいて「ワールドマスターズゲームズ2021関西」及び「海洋プラスチックごみ」に対する取組を紹介(令和元年6月)
- 大阪府北部を震源とする地震、平成30年7月豪雨、平成30年台風第21号への対応(平成30年6月、7月、9月)
- 関西プラスチックごみゼロ宣言(令和元年5月)
- 関西広域帰宅困難者等対策ガイドライン(令和元年9月策定(令和7年4月改訂))
- 令和元年東日本台風への対応(令和元年10月)
- 新型コロナウイルス感染症への対応(令和2年1月～令和6年3月)
新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、府県市民・事業者への統一メッセージの発信、広域的な医療連携等を実施。令和5年5月8日に対策準備室へ移行、令和6年3月31日をもって同室を廃止。
- プラスチック対策検討会設置(令和2年4月～)
- 関西新時代宣言(令和2年11月)
関西広域連合の発足から10年を迎えるに当たり、次の10年間に目指すべき関西の姿を宣言。
- 関西脱炭素社会実現宣言(令和3年11月)
- 有識者による提言・意見集「未来の希望を担う関西広域連合へ」の編纂(令和4年5月)
- 関西広域産業共創プラットフォーム事業の開始(令和4年11月)
域内の公設試による企業に対する技術支援サービスに事業化支援機能を付加させ、域内の多様な機関が連携し、シームレスに中堅・中小企業を支援する広域的プラットフォーム事業を開始。
- 文化庁・関西広域連合・関西経済連合会・文化庁連携プラットフォーム共同宣言「文化の力で関西・日本を元気に」(令和5年7月)
オール関西で、日本の元気を関西から発信する取組を展開するとともに、各地域の取組とも連携して広く全国に展開することで、文化の力で未来を切り開き、「文化芸術立国」の実現を目指し、「文化の力で関西・日本を元気に」することを目的に発信。
- 令和6年能登半島地震への対応(令和6年1月～)
石川県内6市町へのカウンターパート方式による支援を実施。
- 広域的な災害対応力強化タスクフォースの設置(令和6年7月～)
- 南海トラフ地震臨時情報への対応(令和6年8月～)
- 「三好ジオパーク」が日本ジオパークに認定(令和6年10月～)
- 「新たな広域自治・行政のあり方研究会」設置(令和7年8月～)
- 関西広域リージョン連携宣言(令和7年10月)
- 関西脱炭素社会実現宣言2.0(令和7年11月)

関西広域連合 事務局連絡先

■ 本部事務局

■ 資格試験・免許等(本部事務局)

■ 議会事務局

〒530-0005

大阪市北区中之島5丁目3番51号

大阪府立国際会議場11階

電話 06(4803)5668[総務課・議会事務局]

5587[企画広報課]

5612[連携推進課]

5669[資格試験・免許課]

5609[計画課]

5674[地方分権課]

FAX 06(6445)8540[本部事務局・議会事務局]

(6443)7566[資格試験・免許課]

webmaster@kouiki-kansai.jp[本部事務局]

shikakushiken@kouiki-kansai.jp[資格試験・免許課]

gikai@kouiki-kansai.jp[議会事務局]

■ 広域産業振興局

〒559-8555

大阪市住之江区南港北1丁目14番16号

大阪府商工労働部商工労働総務課内

電話 06(6614)0950

FAX 06(6210)9481

sangyo@kouiki-kansai.jp

■ 広域産業振興局農林水産部

〒640-8585

和歌山市小松原通1丁目1番地

和歌山県農林水産部

農林水産政策局農林水産振興課内

電話 073(432)0151

FAX 073(433)3024

sangyo-nougyo@kouiki-kansai.jp

■ 広域医療局

〒770-8570

徳島市万代町1丁目1番地

徳島県保健福祉部

医療政策課内

電話 088(621)2399

FAX 088(621)2898

iryu@kouiki-kansai.jp

■ 広域環境保全局

〒520-8577

大津市京町4丁目1番1号

滋賀県琵琶湖環境部環境政策課内

電話 077(522)5664

FAX 077(528)4844

kankyo@kouiki-kansai.jp

■ 広域職員研修局

〒630-8501

奈良市登大路町30番地

奈良県総務部行政・人材マネジメント課内

電話 0742(27)8165

FAX 0742(26)0457

kensyu@kouiki-kansai.jp

■ 広域防災局

〒650-8567

神戸市中央区下山手通5丁目10番1号

兵庫県危機管理部防災支援課内

電話 078(362)9283・9278

FAX 078(362)9839

bousai@kouiki-kansai.jp

■ 広域観光・文化・スポーツ振興局

〒602-8570

京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町

京都府商工労働観光部観光室内

電話 075(411)0620

FAX 075(414)4842

kankobunka@kouiki-kansai.jp

京都府文化生活部文化政策室内

電話 075(414)5166

FAX 075(414)4223

kankobunka@kouiki-kansai.jp

■ 広域観光・文化・スポーツ振興局スポーツ部

〒650-8567

神戸市中央区下山手通5丁目10番1号

兵庫県県民生活部文化スポーツ局

スポーツ振興課内

電話 078(362)9438

FAX 078(362)4022

kanko-sports@kouiki-kansai.jp

■ 広域観光・文化・スポーツ振興局ジオパーク推進担当

〒680-8570

鳥取市東町1丁目220

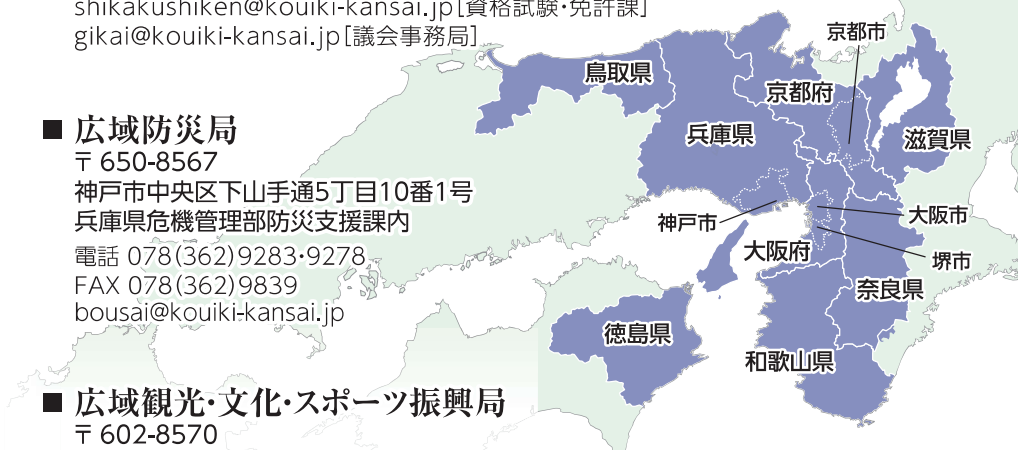
鳥取県生活環境部自然共生社会局

自然共生課内

電話 0857(26)7702

FAX 0857(26)7561

kanko-geo@kouiki-kansai.jp



関西の2府6県4市で構成する関西広域連合は、全国初・唯一の「府県域を越える広域連合」です。圏域人口は約2,200万人で、日本最大の人口を有する地方公共団体です。

広域連合とは…

地方自治法第284条に規定する議会や行政委員会を持つ特別地方公共団体です。府県域を越える広域的な行政ニーズに柔軟かつ複合的に対応できるほか、法令に基づき国の事務・権限の移譲を受けることができます。



関西広域連合では設立5周年と奈良県の正式加入を機に公募によりシンボルマークを決定しました。

Kansaiの「K」の形をモチーフに、関西地域のチカラを結集し、個性とパワー溢れる関西を目指す関西広域連合を表しています。

ワールドマスターズゲームズ 2027関西

概ね30歳以上であれば誰もが参加できる生涯スポーツの国際競技大会が関西各地で開催されます。

開催期間:2027年5月14日~30日

※35競技(59種目)に国内外から5万人参加予定



ホームページ
<https://wmg2027.jp/>

大会マスコット
スフラ
~Sport for Life~

関西広域連合ホームページ

<https://www.kouiki-kansai.jp/>



関西広域連合メールマガジン

<https://www.kouiki-kansai.jp/koikirengo/jyuminsankaku/mailmaga/254.html> 登録者募集中!



関西広域連合Facebook

<https://www.facebook.com/kansai.kouiki>



関西広域連合X

<https://x.com/KansaiKouiki>



ご寄附のお願い

<https://www.kouiki-kansai.jp/10049.html>

